

北九州医療・介護連携プロジェクト

# 「医療・介護連携ルール」活用状況調査（結果）

令和5年3月

## 1. 調査目的

- 北九州医療・介護連携プロジェクトの中心的な取り組みである「とびうめ@きたきゅう」や「医療・介護連携ルール」の運用状況等を把握するための調査を、前年度に引き続き実施。

## 2. 調査概要

- 病院からケアマネ事業所へ、利用者が入院された際に連絡が来ているか（「医療・介護連携ルール」が運用されているか）について、調査票を市内の全ケアマネ事業所に送付し、回答状況を集計。

## 3. 調査期間

- 令和4年11月28日（月）から同年12月23日（金） ※約1か月間

## 4. 回答率

- 41.9%（158/377事業所）※小規模多機能事業所を含む  
《昨年度 55.2%（216/391事業所）》

## 5. 調査期間中の入院件数

- 500件（救急入院・当日入院・その他入院）  
《昨年度 598件》

## 【病院→ケアマネ事業所への入院連絡】

- ① 入院3日以内に連絡があった **256/500件 (51.2%)** 《昨年度 50.8%》
- ② 入院4日以降に連絡があった 22/500件 (4.4%) 《昨年度 5.2%》
- ③ 連絡がなかった (家族等から連絡あり) 222/500件 (44.4%) 《昨年度 44.0%》

## 【ケアマネ事業所→病院への情報提供】 <病院からの入院連絡あり（上記①+②）を集計>

- ① 3日以内に情報提供をした **219/278件 (78.8%)** 《昨年度 78.8%》
- ② 4日以降に情報提供をした 6/278件 (2.2%) 《昨年度 2.7%》
- ③ 情報提供していない 53/278件 (19.1%) 《昨年度 18.5%》

\*参考：全ての入院（500件）における「ケアマネ事業所→病院への情報提供」の割合

		全 体	内 訳	
			病院からの入院連絡あり	病院からの入院連絡なし
情報提供をした		69.8% (349/500件)	<b>80.9%</b> (225/278件)	<b>55.9%</b> (124/222件)
内 訳	入院を知ってから3日以内	60.6%(303/500件)	78.8%(219/278件)	37.8%( 84/222件)
	入院を知ってから4日以降	9.2%( 46/500件)	2.2%( 6/278件)	18.0%( 40/222件)
情報提供していない		30.2%(151/500件)	19.1%( 53/278件)	44.1%( 98/222件)

➔ **病院からケアマネ事業所への「入院連絡あり」のほうが  
ケアマネ事業所から病院に「情報提供をした」割合が高くなっている**

# ケアマネ事業所から見て「誰から利用者入院の連絡があったか」

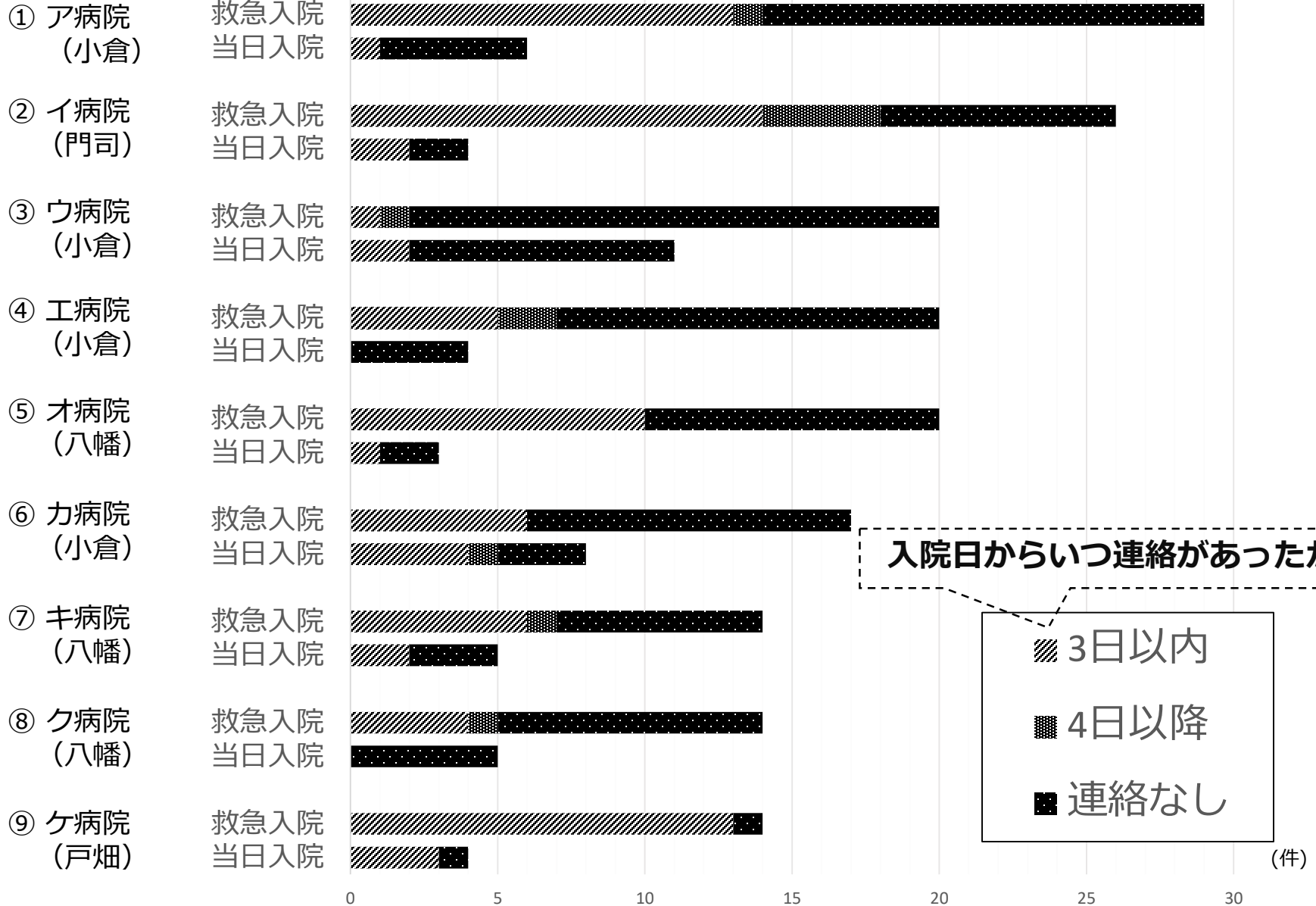
連絡をくれた相手方			連絡があった件数	
病院	家族	その他		
医療・介護連携ルール上のルート	○	○	○	3.0%(15/500件)
	○	○		27.2%(136/500件)
	○		○	9.2%(46/500件)
	○			16.2%(81/500件)
		○	○	1.4%(7/500件)
		○		29.8%(149/500件)
			○	13.2%(66/500件)
<b>55.6%(278/500件)</b>	<b>61.4%(307/500件)</b>	<b>26.8%(134/500件)</b>		
{ 56.0%(335/598件)	59.0%(353/598)	22.7%(136/598件)	←昨年度(参考)	

最も多い

- **病院⇒家族⇒ケアマネ事業所** の入院連絡ルートは、昨年度に続き最も多い
- しかし、医療・介護連携ルール上の入院連絡ルート **病院⇒ケアマネ事業所** はケアマネ事業所からの情報提供率の向上にもつながっており、重要なルートと言える
- ➔ プロジェクトで策定した『医療・介護連携ルール』のさらなる徹底が必要

# 病院からケアマネ事業所への 「利用者が入院しました」の連絡

※R4.11.28~R4.12.23の入院者（救急入院、当日入院）  
について、市内のケアマネ事業所に調査したもの



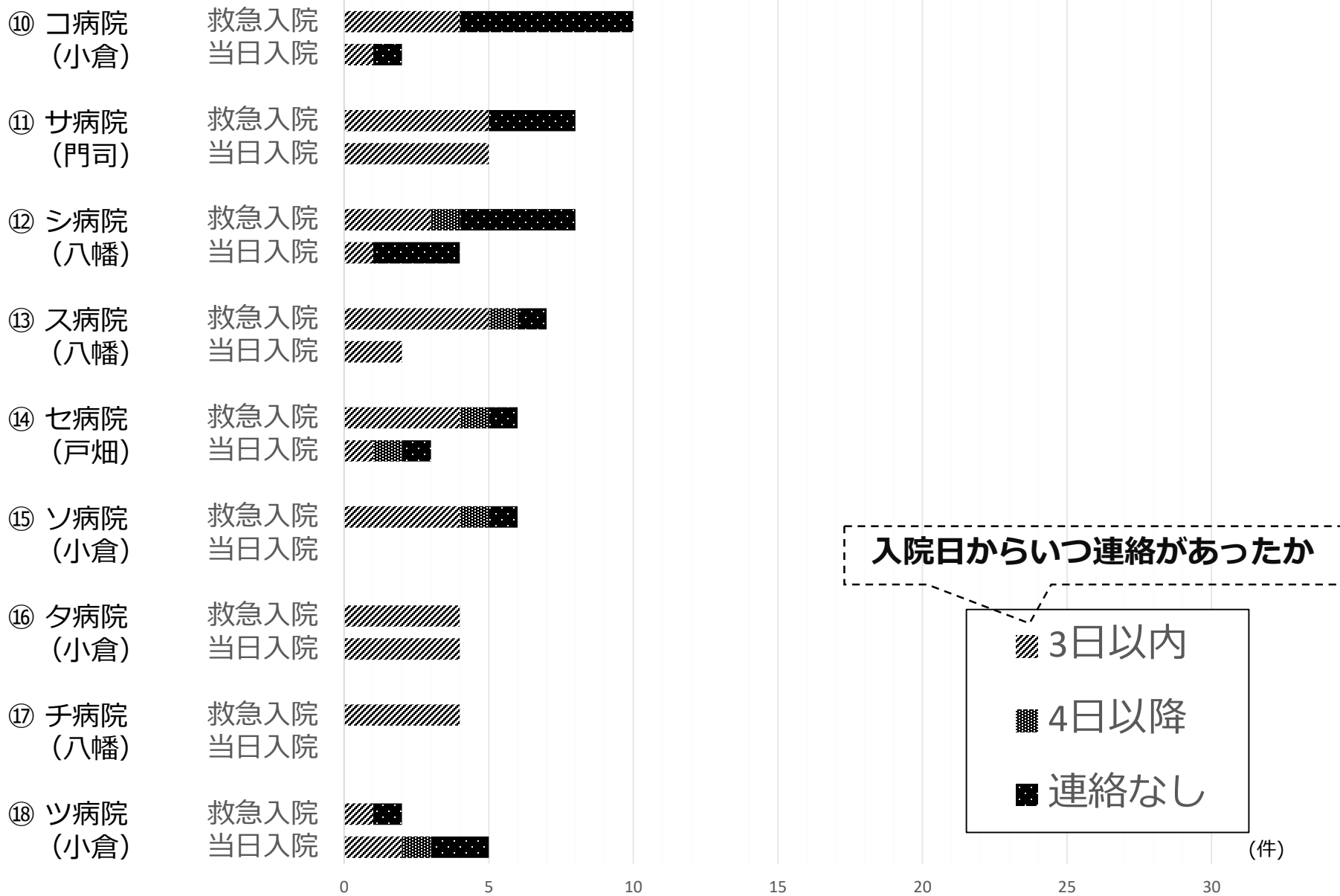
入院日からいつ連絡があったか

3日以内

4日以降

連絡なし

(件)



それぞれの病院内でも  
ケアマネ事業所への入院連絡の対応に差

## ○まとめ（ケアマネ事業所調査）

- 運用状況については、前回の調査結果と大きな変動は見られなかった。
  - ・ 利用者の入院の5割
    - ⇒ 入院3日以内に病院からケアマネ事業所に連絡あり
  - ・ 病院からケアマネ事業所に連絡のあったケースのうちの8割
    - ⇒ ケアマネ事業所から病院に利用者の情報提供をした
- ケアマネ事業所に利用者の入院の連絡をくれた相手方で、最も多かったのは、前回に続き「家族」の61.4%で、「病院」は55.6%であった。
- それぞれの病院内でも、ケアマネ事業所への入院連絡の対応に差。
- 病院からケアマネ事業所に入院連絡をしない場合に比べ、病院からケアマネ事業所に直接連絡した場合の方が、ケアマネ事業所からの情報提供率の向上（25%アップ）につながっている。
- さらなる医療と介護の連携を進めるためにも、プロジェクトで策定した『医療・介護連携ルール』を改めて周知・徹底する必要がある。

○参考：病院 → ケアマネ事業所への利用者入院の**連絡の有無と日数**（病院からの連絡日 - 入院日）

病院からの連絡の有無  
利用者が入院したことの

あり

なし

病院からの連絡の有無と日数		全入院種別 (N=500件)	内 訳		
			救急入院 (N=255件)	外来受診後の 当日入院 (N=135件)	その他の入院 (N=110件)
病院から連絡があった		55.6%(278件)	54.9%(140件)	56.3%( 76件)	56.4%( 62件)
上記内訳	入院3日以内	51.2%(256件)	49.4%(126件)	53.3%( 72件)	52.7%( 58件)
	入院4日以降	4.4%( 22件)	5.5%( 14件)	3.0%( 4件)	3.6%( 4件)
病院から連絡がなかった (病院以外から連絡があった)		44.4%(222件)	45.1%(115件)	43.7%( 59件)	43.6%( 48件)

上記「あり」のうち、

○参考：ケアマネ事業所 → 病院への**情報提供の有無と日数**（情報提供日 - 病院からの連絡日）

病院からの連絡後の 病院への情報提供の有無と日数		全入院種別 (N=278件)	内 訳		
			救急入院 (N=140件)	外来受診後の 当日入院 (N=76件)	その他の入院 (N=62件)
情報提供を行った		80.9%(225件)	83.6%(117件)	78.9%( 60件)	77.4%( 48件)
上記内訳	連絡後3日以内	78.8%(219件)	82.1%(115件)	78.9%( 60件)	71.0%( 44件)
	連絡後4日以降	2.2%(6件)	1.4%( 2件)	—	6.5%( 4件)
情報提供なし		19.1%(53件)	16.4%( 23件)	21.1%( 16件)	22.6%( 14件)



## ○参考：北九州医療・介護連携プロジェクトについての意見①

### <「とびうめ@きたきゅう」について>

- ご利用のご家族様へ、ご案内が出来るようにパンフレット等、施設に設置したい。
- 災害時などに役立つと思うので、透析を受けている方には声掛けをしています。
- 独居高齢者は登録に積極的な場合が多い。受付した後、発行までの時間が分からないため（まだ届きませんと言われるため）どの程度かかるのか、分かるようにしてほしい。

### <「医療・介護連携ルール」について>

- **北九州のみならず、周辺の区域にもぜひ協力してもらえたら**と感じる。他の行政区域の医療機関に運ばれた時などは、ケアマネに対する対応に温度差があり、困ることも。他の行政区域にもこういった取り組みをしていただけると非常にありがたいと思う。
- 入院時、病院からの連絡はありませんでした。
- 入院後、ご家族から連絡があり、こちらより病院へ連絡を行うことが多いです。病院によって様々ですが、入院時は病院関係者の方は忙しいようで、病院側からの連絡は少ないです。（入院直後はソーシャルワーカーが決まってくなくて対応は難しいです。）連絡を受けた際は殆ど3日以内に情報提供を行っています。
- 入院の際の連絡は、ご家族から受けることが多いです。
- 病院側に情報提供しているにもかかわらず、転院等の際に病院から連絡がない。

### <「病院窓口ガイド」について>

- ・ 病院窓口ガイドは連絡の際、大変役立っています。
- ・ 病院窓口ガイドは入院時にどこに確認したらよいかなど参考になる。祝日などで担当が不在の時などの対応方法ものせてくれると良い。
- ・ 窓口ガイドにFAX番号が記入されている所が良い。
- ・ 入院時情報提供書をFAXしたいのだが、病院の電話交換につながり何度も転送される病院が多々ある。

### <その他>

- ・ 連携が図りやすくなったと思います。
- ・ 今後、調査票を送付する場合に自事業所で登録されている利用者の名簿も同封してください。（個人や他施設・病院等で登録した方はこちらではわからない）
- ・ 連携があり良かったということが不明な為よくわかりませんでした。
- ・ 病院（大きな総合病院）によっては、ケアマネに薬の情報や病状を電話やケアマネだけが行っても教えてくれない。こちらからだけの情報を提供するのはおかしいと思います。
- ・ さらなるご周知をお願いしたいです。
- ・ 特養など入居施設であれば、協力医療機関があるため、通常時は不便を感じなかった。この度コロナ第8波に入り、受け入れが困難な状況となり、混乱した。特殊状況においての対応整備の必要性を感じた。

## ○参考：医療と介護の連携について良くなった点やお困りごとなど①

### <良くなった点>

- ・ 医療と介護の連携で治療方針や服薬の種類、リハビリの状況等が詳しく分かるようになりました。
- ・ 入院の時点で入院になった状況や定期的に病状やADL等について連絡があるので、サービス事業所共々利用者の経過が把握でき退院が決まっても慌てることなく支援ができる。
- ・ 以前に比べて入院時の連絡は少し増えた。
- ・ 病院から入院されたとの連絡は増えてきています。
- ・ 利用者様の入院時に病院の看護師の方などから連絡を頂けることが多くなったのは非常に助かっている。
- ・ 病院より入院の連絡を受ける回数が増えました。
- ・ きちんと連絡をいただき、情報共有が出来るようになった。
- ・ 転院の相談などしやすくなりました。情報提供することで退院後の生活の相談がしやすくなりました。
- ・ 病院によりますが、連絡は取りやすくなりました。
- ・ 以前に比べ、ご利用者の方が入院されるとかなり早い段階でケアマネに連絡をして頂くことが多く、連携が取りやすくなりました。
- ・ 入院してからの病院の担当看護師や相談員からの連絡は増えてきている。
- ・ とびうめに登録があるからと入院した際に病院から連絡がかかってくるようになった。詳細は分からない時もあるが、入院したと連絡がくるようになったのはとびうめの結果だと思えます。

## ○参考：医療と介護の連携について良くなった点やお困りごとなど②

### <良くなった点（つづき）>

- ・ 連携しやすくなりました。コロナの増加に伴い減ってはいますが、各医療機関の皆様が良くして下さい、大変助かっています。
- ・ 病院により様々ですが、ソーシャルワーカー、看護師の対応はスムーズに改善されていると思います。
- ・ 入院・転院・退院の連絡や連携がお互いスムーズになっている。

### <お困りごと>

- ・ 病院によって連絡のあるところとないところがある。入院時に、可能であれば入院に至った疾患名を伝えてもらいたい。
- ・ 入院時の報告は増えてきているが、以前からあまり連絡がない病院はあまり変わっていない。やはり連絡がないことが多い。
- ・ 入院時には連絡がなく、退院調整ではじめて連絡があることも多い。
- ・ 入院先より連絡があれば情報提供も行いやすいが、何も連絡がない場合は情報提供もしづらい。
- ・ 特定の医療機関は連絡（入退院ともに）が全くない（急性期病院）。医療機関によっては医療・介護連携ルールの存在をまだ知らない職員がいる。（医療機関の中でも周知進んでいないところある印象）
- ・ 某救急病院は、以前より入退院の連絡がなく、こちらから情報提供を行ってもサマリーがまったくいただけない。

### <お困りごと（つづき）>

- ・ 情報提供を行うにあたって、提供先の担当者が分からないこともあり、誰に渡せばいいか分からないこともあった。
- ・ 情報提供しても退院の連絡が入らない。
- ・ 入院時に連携を図っていても、転院した連絡がないことが度々あるので教えてほしい。
- ・ 病院からの連絡には時間差がある事と、特になく退院される事がある時は、準備できず困る事があります。
- ・ 病院や医師の方によっては、「介護（サービス）」や「介護医療との連携」について理解して下さっている方や、まだそうでない方もいらっしゃったり、スムーズに連携とれないことがありました。必ず入院の連絡をして下さる病院、全く連絡がない病院があります。また、病院によってはMSWではなく退院支援Nsが対応して下さるところがあり、問い合わせ先をどこに（誰に）するのがよいのか分かりづらいことがあります。
- ・ コロナで病院でのアセスメントができなくなり、ADLなどの確認ができない。末期の方を担当することが多く、本人に会わせてもらえず、アセスメントを行えないが、病院からケアプランを下さいと言われる。入退院時の連絡が病院からなく、退院したことを他事業所からの連絡で知った。
- ・ 某救急病院については、医療連携室よりも病棟看護師が窓口となっているので、本人の身体状況等は、個人情報があると教えていただけなかった。

**<お困りごと（つづき）>**

- ・ 介護保険更新の際主治医意見書を依頼したが、どこの部署が受け付けているのかわからない。交換のオペレーターに尋ねてもはっきりしない。何度も同じ説明を繰り返さないといけない。医療機関はどこも忙しいと思うので、手間をかけるが申し訳なく思う。共通の名称の窓口があれば非常にスムーズに話ができる。

**<その他>**

- ・ この夫婦には入ってもらいたいと思う方に説明しましたが、まだ良いと言われました。本人の同意があるので仕方ないのですが、説明が下手だったんだと思います。
- ・ 私たちケアマネは特に厳しく、書類や研修も多く受けないといけないのに、医療と平等でないのは疑問を感じます。